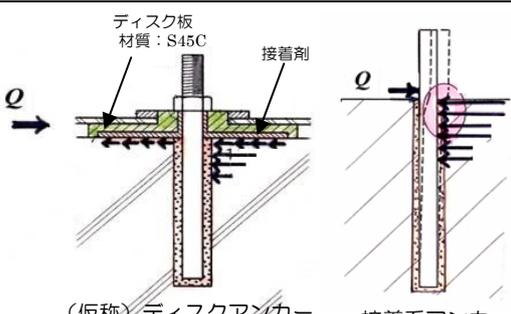
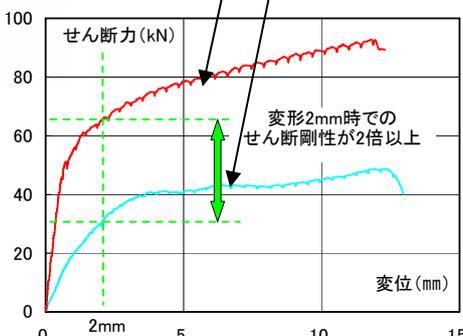
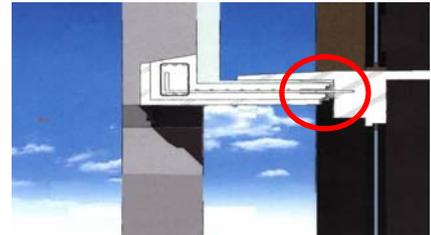
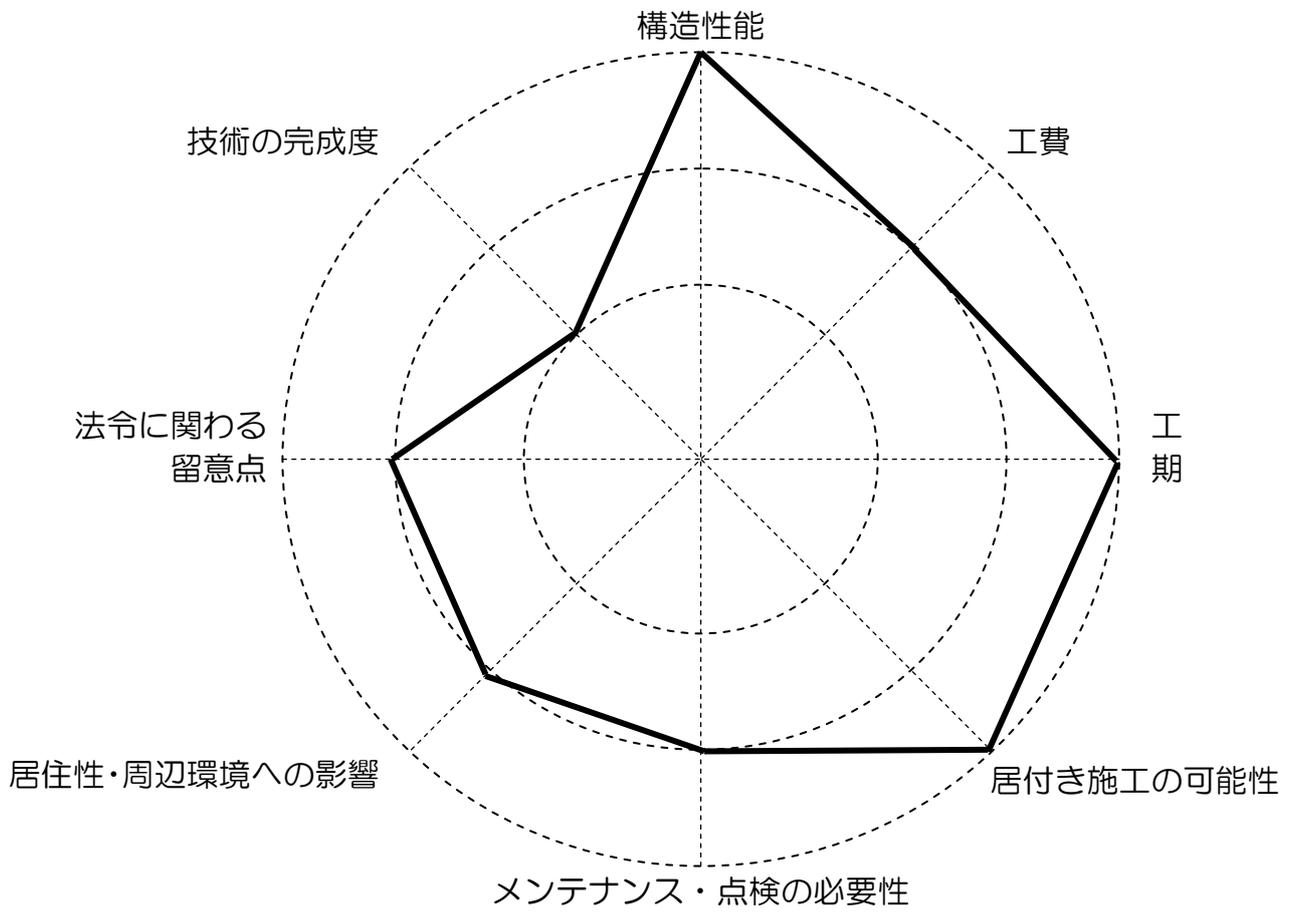


項目	内容
A) 技術の名称	せん断剛性向上型接着系アンカーボルト（（仮称）ディスクアンカー）
B) 技術の特徴	<p>既存コンクリート表面にディスク板を接着し、接着系アンカーボルトを設置することで、アンカーボルトとディスク板が協働してせん断力を伝達する。これにより接着系アンカーのみの場合と比較してせん断剛性、せん断耐力を大きく高めることができ、アンカー設置本数を低減することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>（仮称）ディスクアンカー 接着系アンカー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>せん断力 (kN)</p> <p>変位 (mm)</p> <p>変形2mm時でのせん断剛性が2倍以上</p> </div> </div> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">せん断抵抗機構の違い</p> <div style="text-align: center;">  <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">外付け耐震補強工法の接合部（例）</p> </div> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">性能比較グラフ</p>
C) 提案者	サンコーテクノ株式会社
D) 連絡担当者	氏名 半田 清和 所属 サンコーテクノ(株)カスタマーテクノセンター 住所 〒270-0107 千葉県流山市西深井 1028-14 電話番号 04-7178-2711 メールアドレス vzfw0067@sanko-techno.co.jp
E) 提案技術の内容	<p>① 適用範囲および対応する既存技術（既存の同様な技術）</p> <p style="padding-left: 20px;">適用範囲：耐震補強工事</p> <p>耐震補強工事において、枠付き鉄骨ブレースなどの間接接合部には、多くの接着系アンカーが使用されている。</p> <p style="padding-left: 20px;">[対応する既存の技術：接着系アンカー]</p> <p>② 構造性能</p>

	<p>接着系アンカーはせん断剛性が低く接合部には、多くのアンカーが必要となる。(仮称)ディスクアンカーは抵抗機構の違いにより、高いせん断剛性を得ることが出来る。またせん断耐力が高く、アンカー周りのコンクリートの損傷も少ない。</p>
	<p>③ 工費 アンカー本数は削減できるが、ディスク板の設置などを含めると、あと施工アンカー工事費用は、接着系アンカーと同等。</p>
	<p>④ 工期 アンカー本数の削減により、あと施工アンカー工事に掛かる日数が減り、耐震補強工事の工期短縮につながる。</p>
	<p>⑤ 居付き施工の可能性 耐震補強工事の工期短縮により全体的な騒音や振動は抑えられるが、(仮称)ディスクアンカー1本の施工時の騒音や振動は、接着系アンカーと同等。また本数を削減できるため、既存躯体の増し打ちを省くことが出来る場合がある。</p>
	<p>⑥ 確実な施工のための条件 施工手順書の厳守 メーカーの施工指導を受けた JCAA (日本建築あと施工アンカー協会) のあと施工アンカー施工士 1 種及び同等の資格者による施工</p>
	<p>⑦ メンテナンス・点検の必要性 なし</p>
	<p>⑧ 居住性・周辺環境への影響 なし</p>
	<p>⑨ 法令に関わる留意点 国土交通省告示第 314 号によりあと施工アンカーに関する告示が施行され、適用範囲は「あと施工アンカー・連続繊維補強設計・施工指針」に示されている。(仮称)ディスクアンカーに必要な手続きは接着系アンカーに準ずる。</p>
	<p>⑩ 公的機関による技術評価等の取得の有無 技術評価取得に向けて開発中</p>

	<p>⑪ 今後の研究開発計画</p> <p>低強度コンクリートへの適用性を検討</p> <p>接合部実験などに関する共同研究を募集中</p>
	<p>⑫ その他</p> <p>現在、開発中のため実際に使用する際は、個別対応となりますので、実験による性能確認が必要な場合があります。</p>
<p>F)他者が技術を利用する際の条件</p>	<p>耐震補強の促進につながるあと施工アンカーシステムとして、多くの方に使用して頂くため、特別な条件は設けておりません。</p>
<p>G)参考資料</p>	<p>資料 1 技術概要</p> <p>資料 2 施工手順書</p> <p>資料 3 文献 既存建物の耐震補強に関するディスク型高性能せん断接合方法の実験的研究 (23055) (2007 年度建築学会大会用 論文)</p> <p>実績：森永乳業中央研究所耐震補強工事</p>

最外円：既存の技術に比べて優れている
中間円：既存の技術と同等
最内円：既存の技術に比べて劣っている



レーダーチャート